2023(令和５)年度

学校関係者評価　報告書

【評価対象期間】
自:2022(令和　4)年４月　１日
至:2023(令和　5)年３月31日

学校法人大原学園
大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校
学校関係者評価委員会

１．学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 実施日時・場所

日時：2023 年 8 月 8 日(火)　15：00～16：30

場所：大原学園宇都宮校 8 階 8C 教室

(2) 学校関係者評価委員

① 学外委員

氏　名	団体企業名	役職等
野沢 恭久	宇都宮商工会議所	地域振興部長
上﨑 純一	栃木県東京事務所	所長
葛西 美奈子	株式会社 TMC 経営支援センター	代表取締役社長
石川 裕司	栃木いすゞ自動車株式会社	次長
廣瀬 恵美	佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院	医事課係長
宮﨑 勝広	セントラルフィットネスクラブ宇都宮	店長
久保田 康夫	自衛隊栃木地方協力本部	募集課長
秦 政俊	富士フイルムビジネス イノベーションジャパン株式会社	メジャー営業部 ソリューション営業 ２グループ長
中村 大祐	アティスインターナショナルアカデミー	理事
手塚 壹子	セブンイレブン宇都宮駅東口店	オーナー
熊倉 謙太	グローブシップ株式会社	社員
森戸 千沙輝	株式会社ベストブライダル（卒業生）	－
縄田 洋子	あすか中央税理士法人（卒業生）	－
高橋 大斗	株式会社 TKC（卒業生）	－
荒木 真由	学校法人　自治医科大学（卒業生）	－
内田 沙月	株式会社 LAVA International（卒業生）	－
中村 春樹	栃木県公立小中学校事務（卒業生）	－

② 学内委員(事務局)

氏　名	団体企業名	役職等
高橋 研	大原学園　宇都宮校	校長
菊地 透	大原学園　宇都宮校	顧問
小林 昭彦	大原学園　宇都宮校	教務部 次長
篠﨑 宣之	大原学園　宇都宮校	教務部 課長代理
遠藤 竜也	大原学園　宇都宮校	教務部 課長代理

③ 配布資料

・2022（令和 4）年度　自己点検・評価報告書

・学校関係者評価委員会　会議資料

(3) 議題内容

2022 年度の自己点検・評価報告書を基準に、特に提言頂きたい重点項目を「基準 4：学修成果」「基準 5：学生支援」「基準 6：教育環境」「基準 10：社会貢献・地域貢献」とし、学校関係者評価委員へ事前に伝達した上で開催された。

2．学校関係者評価委員会からの評価結果報告

(1) 基準 1　教育理念・目標・育成人材像

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
理念・目的・育成人材像	1-1-1 理念･目的･育成人材像は定め有れているか	定めている
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	80%
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	80%
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構造を抱いているか	70%

② 委員からの提言

□ 先生方の指導が反映されていると実感できる。社会に出ると主体的に考え行動出来る人材が求められる為、そのような学生を多く輩出できるようにしてほしい。

(2) 基準 2　学校運営

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
運営方針	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	定めている
事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	定めている
運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	90%
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	90%
人事･給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	80%
意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	90%
情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか	70%

② 委員からの提言

□ 委員からの意見なし。

(3) 基準３　教育活動

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
目標の設定	3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	定めている
	3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか	明確にしている
教育方法・評価等	3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	80%
	3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	70%
	3-9-3　キャリア教育を実施しているか	70%
	3-9-4　授業評価を実施しているか	70%
成績評価・単位認定等	3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	70%
資格・免許の取得の指導体制	3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	80%
	3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	80%
教員・教員組織	3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	60%
	3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	70%
	3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	80%

② 委員からの提言

□　教員の資質向上のためには、職員自身が情報収集する必要がある。
□　学生ニーズを知るためにも、授業アンケートは非常に重要である。

(4) 基準４　学修成果

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職率	4-13-1　就職率の向上が図られているか	80%
資格・免許の取得率	4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	60%
卒業生の社会的評価	4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	60%

② 委員からの提言

□　引き続き地域活性化を意識した県内就職にも力を入れていただきたい。
□　ネット試験への対応など変化する試験制度へ適切な対応が必要になってくる。
□　ビジネスマナー（特に電話)、敬語表現、礼儀正しく主体性をもって行動が出来ているという強みを感じる。
□　面接では、会話の内容から「人間性」を把握しており、準備や内容以上に重視している。 意欲的でポジティブな学生かの把握は、新しい発想が出せる人材や、意見を発し周囲を引っ張ることが出来るかなどで見ている。

(5) 基準５　学生支援

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
就職等進路	5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	90%
中途退学への対応	5-17-1　退学率の低減が図られているか	60%
学生相談	5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	60%
	5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	60%
学生生活	5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	80%
	5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	90%
	5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	70%
	5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	70%
保護者等との連携	5-20-1　保護者等との連携体制を構築しているか	60%
卒業生・社会人	5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	70%
	5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	60%
	5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	60%

② 委員からの提言

□　アフターコロナにより、地域の行事が活発化している。LRT 開通に伴い、益々栃木県内が活性化されるため、地元就職などに追い風と考えられるので、今後の担い手となる学生に期待していることを伝えて頂き、モチベーション向上に繋げていただきたい。
□　企業でも社内行事や食事会の設定、メンターを付けるなどサポートを行っているがその他の対策も必要と考える。先生方だけで対応するのではなく、公的機関や家族や友人へ相談できる環境を整えていただきたい。
□　留学生の支援では、出身地の文化を把握し、理解を示すことが大切である。

(6) 基準６　教育環境

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
施設・設備等	6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	80%
学外実習、インターンシップ等	6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	60%
防災・安全管理	6-24-1　防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか	70%
	6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

□　DX 推進に伴い、IT 機器を中心に、最新の機器に触れられる環境の提供が必要である他、AI 技術（チャット GPT など）を適切に使えるよう指導が必要と考える。
□　カリキュラムの問題もあるが、職業選択のミスマッチを防げるように、異業種のインターンシップへの参加を検討しても良いと考える。

(7) 基準７　学生の募集と受入れ

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
学生募集活動	7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	60%
	7-25-2　学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	80%
入学選考	7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	80%
	7-26-2　入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	50%
学納金	7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している
	7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	行っている

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(8) 基準８　財務

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
財務基盤	8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	安定している
	8-28-2　学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	行っている
予算・収支計画	8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	策定している
	8-29-2　予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	行っている
監査	8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	実施している
財務情報の公開	8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(9) 基準９　法令等の厳守

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	90%
個人情報保護	9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	80%
学校評価	9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	行っている
	9-34-2　自己評価結果を公表しているか	公表している
	9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価をしているか	行っている
	9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	公表している
教育情報の公開	9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	70%

② 委員からの提言

□　委員からの意見なし。

(10) 基準１０　社会貢献・地域貢献

① 自己評価の状況

中項目	小項目	自己評価
社会貢献・地域貢献	10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	70%
	10-36-2　国際交流に取組んでいるか	30%
ボランティア活動	10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	80%

② 委員からの提言

□　地域行事や各種イベントも開催されるようになったので、日本語学校等との交流に取り組んでいただきたい。

(11) 総評

2022 年の「自己点検・評価報告書」について、検証を行った結果、客観的な自己点検・評価に基づき適正に運営されているとご評価いただいた。委員の方々から在校生、卒業生共に「挨拶や礼儀作法がしっかりと身に付いている学生が多く、期待値が高い」とのお言葉を頂いた。今後は「真面目なだけでなく、自ら考え、主体的に物事に取り組む学生の教育により一層注力してほしい」とのご助言をいただいた。教職員一同、肝に銘じたい。

学校関係者一同、客観的な視点から様々な提言を投げかけることにより、大原簿記情報ビジネス医療専門学校宇都宮校、大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校が地域社会の信頼を益々得られるようにサポートしていきたいと思う。

以上